

防災教育講演会 感想用紙

神戸新聞社 兵庫県 NIE 推進協議会事務局 三好 正文 (みよし まさふみ) 様の講演を聞いて

講演内容:「震災30年 記憶をつなぐ」

1. 講演を聞いて感じたことを書きましょう。

忘れぬこと、語り継ぐことがとても大切だと分かった。30年経界
説をこえるためにも自分にできることを考えようと思った。死者
6434人の中にも、救出可能な人が1分、(時間と少しでも早けれ
ば助かえる命もある、とんだろうと思うと、本当に残念だと感じた。
亡くなった方を二度死なせない為にも、この物事があつたことを
忘れぬわけにはいかないと思う。

2. 阪神淡路大震災から今年で31年になります。

令和を生きるあなたたちが、震災を後世に伝えていくためにできることは何でしょうか。

講演を聞いて感じたこと(1)や、これまで学んできたことをもとに、書いてみましょう。

まずは忘れないことが大切だと思う。そして、今日教えたこと
だいたことを家族に話したり、友達に話して伝えていくことを
大切なことだと感じた。経験してない分、教えたことであつた
いたことを忘れないように、人に語り継いでいくことを感じ
た。あとは、お母さんから話を聞いてお母さんや父さんや
この機会を通して思う。

()年()組()番()

防災教育講演会 感想用紙

神戸新聞社 兵庫県 NIE 推進協議会事務局、三好 正文 (みよし まさふみ) 様の講演を聞いて

講演内容:「震災30年 記憶をつなぐ」

1. 講演を聞いて感じたことを書きましょう。

一番心に残ったことは「人を2度死なせない」ということです。そして地震は自然との戦争であるということが分かりました。阪神淡路大震災では6434人が亡くなってしまいました。そして92人は災害関連死で亡くなってしまいました。この出来事を絶対に忘れてはならないし、浅井聖希子さんは小学生にもわかるように亡くなってしまい、その母親が「忘れないでほしい」という思いで時計をつくらしました。1人1人を忘れないことと、備えることがとても重要であると思いました。

2. 阪神淡路大震災から今年で31年になります。

令和を生きるあなたたちが、震災を後世に伝えていくためにできることは何でしょうか。

講演を聞いて感じたこと(1)や、これまで学んできたことをもとに、書いてみましょう。

同級生だけでなく、家族や小学生の人、地域の人にも伝えていくということができると思ったり、地域の活動にも参加して地域の人と仲を深めていくこともできると思ったり。そして、一番たくさんの人に伝わり、分かりやすく聞いて、見てもらうにはネットが一番簡単にできます。なのでネットを使って何かをとりよしたりする場合はそうしたい。使い方を覚えていくこともできると思ったり。

()年()組()番()

防災教育講演会 感想用紙

神戸新聞社 兵庫県 NIE 推進協議会事務局 三好 正文 (みよし まさふみ) 様の講演を聞いて

講演内容:「震災30年 記憶をつなぐ」

1. 講演を聞いて感じたことを書きましょう。

阪神・淡路大震災から今年で31年が経ち、震災の記憶を忘れさせないためにできることをしっかりと考えたいと思った。神戸新聞の記者の人たちは、自分の家族を失っても、「市民に安心安全な情報を届ける」という意志を持って新聞を作り続けているのがとてもすごいと思った。復興と住民の思いを両立するのが難しいと思った。

2. 阪神淡路大震災から今年で31年になります。

令和を生きるあなたたちが、震災を後世に伝えていくためにできることは何でしょうか。

講演を聞いて感じたこと(1)や、これまで学んできたことをもとに、書いてみましょう。

震災を後世に伝えていくために、まずは家族や友達など、身近な人に今日学んだことを伝えていきたい。また、家でもできる限りの災害への備えをしてみたいと思った。「30年限界説」を今年で越え、31年目になるので、これからの自分たちがどう行動するかで未来に地震がまた起きた時の状況が変わると思った。

()年()組()番()

防災教育講演会 感想用紙

神戸新聞社 兵庫県 NIE 推進協議会事務局、三好 正文(みよし まさふみ)様の講演を聞いて

講演内容:「震災30年 記憶をつなぐ」

1. 講演を聞いて感じたことを書きましょう。

神戸新聞社は「助けが来るように 祈りにも似た気持ちで記事をかいていたときいて、本当にすごいなあと思いました。私は、もし、震災にあった不安になったとしてもいろんな人に寄り添って、はげましてあげたいと思いました。私は、この阪神淡路大震災のことを忘れずに、語り継ぐことが大切だと思っています。これから震災にあつたときのためにしっかり準備しようと思っています。

2. 阪神淡路大震災から今年で31年になります。

令和を生きるあなたたちが、震災を後世に伝えていくためにできることは何でしょうか。

講演を聞いて感じたこと(1)や、これまで学んできたことをもとに、書いてみましょう。

命の尊さ、そばににいることの大切さをふまえて、いつも家族にえらそうに言うんじゃないかと、私をいつも支えてくれていることに感謝していく。震災のことをしっかり勉強してもし、私が震災にあつたらどうしたらいいかや、どう寄り添うにりはげましてくれたらうれしいか、考えて、それをまわりの人にしてあげたり、震災にあつたときにしてあげること。

()年()組()番()

防災教育講演会 感想用紙

神戸新聞社 兵庫県 NIE 推進協議会事務局 三好 正文 (みよし まさふみ) 様の講演を聞いて

講演内容:「震災30年 記憶をつなぐ」

1. 講演を聞いて感じたことを書きましょう。

今日の話を聞いて、思ったことは、いろんなことを大切にするとか"すること"
 多かったです。身近にいる家族、友達など"か"明日また会えて、時間を過ご
 せることか"と"かたけ、幸せなのか、あらためて感じました。命の尊さもよ
 く知ることか"できました。日々の生活を大切にしてい、感謝したいと思っ
 ました。地震が起きて"まず"大切にするとは共助だ"ということか"分か
 りました。そして震災が起きて義勇者になった人達を忘れないこと。

2. 阪神淡路大震災から今年で31年になります。

令和を生きるあなたたちが、震災を後世に伝えていくためにできることは何でしょうか。

講演を聞いて感じたこと(1)や、これまで学んできたことをもとに、書いてみましょう。

動画を見て、地震の恐しさを知りました。激しい揺れにおそわれていて
 こわかったです。自分もいつか体験するかもしれないので、今こうして、生きて
 いることに感謝し、しっかりそなえておくべきだと分かりました。そして記者
 の人達は本当にすごいなと思いました。起きたことは伝えつづけていて、残
 して、忘れないようにしていきつづけたんです。私も、このことを、少しでも
 誰かに伝えておくことが大切だと分かりました。忘れないようにしたいです。

()年()組()番()

防災教育講演会 感想用紙

神戸新聞社 兵庫県 NIE 推進協議会事務局 三好 正文 (みよし まさふみ) 様の講演を聞いて

講演内容:「震災30年 記憶をつなぐ」

1. 講演を聞いて感じたことを書きましょう。

洲本で5人家族の内4人がなくなったことがすごく
くしうげきをうけました。1日前に神戸で震度1の地
震があることを知りました。機械が使えなかつた
時は京都新聞の方で新聞紙を作っていたことを
知りました。神戸新聞はみんなを安心させようと
あたたかいニュースを書いていたことを知りました。

2. 阪神淡路大震災から今年で31年になります。

令和を生きるあなたたちが、震災を後世に伝えていくためにできることは何でしょうか。

講演を聞いて感じたこと(1)や、これまで学んできたことをもとに、書いてみましょう。

地震は、いつおきてもおかしくないと知ったの
で今からでも地震にそなえての用意をしようと思
いました。今日でてきた神戸新聞の7日間という映
画を土日で見ようと思っています。地震の後の神戸新聞の
あたたかいニュースを読みたいと思いました。

()年()組()番()

防災教育講演会 感想用紙

神戸新聞社 兵庫県 NIE 推進協議会事務局... 三好 正文 (みよし まさふみ) 様の講演を聞いて

講演内容:「震災30年 記憶をつなぐ」

1. 講演を聞いて感じたことを書きましょう。

絶対に震災について忘れてはいけないと思いました。30年限界説があるけど、伝えていくのは僕達で、限界を作るのも僕達です。いつ起こるか分からない震災のため、亡くなった方々の死が無駄にならないため、必ず僕達が過去から学び、伝えるという事をしていきたいです。そして、しっかりとした備えをしていきたいです。

2. 阪神淡路大震災から今年で31年になります。

令和を生きるあなたたちが、震災を後世に伝えていくためにできることは何でしょうか。

講演を聞いて感じたこと(1)や、これまで学んできたことをもとに、書いてみましょう。

まず自分が絶対に震災について忘れないことが大切だと思いました。そして震災について伝えていくため、まず僕達が震災について正しく知ること、周りの人に伝えていくことが必要だと思いました。本当にいつ起こるか分からない南海トラフをはじめとする地震に備えて僕達ができることを精一杯していこうと思いました。

()年()組()番()

防災教育講演会 感想用紙

神戸新聞社 兵庫県 NIE 推進協議会事務局 三好 正文 (みよし まさふみ) 様の講演を聞いて

講演内容:「震災30年 記憶をつなぐ」

1. 講演を聞いて感じたことを書きましょう。

被災して亡くなられた方々の中で神戸市などは人数も多かったし、町の状況も荒れ果てていたけど、洲本市の4人の方は1家族で、しかも女の子が1人だけ残されたというのがとても悲しいと思いました。「人は二度死ぬ」という言葉が一番印象に残りました。

2. 阪神淡路大震災から今年で31年になります。

令和を生きるあなたたちが、震災を後世に伝えていくためにできることは何でしょうか。

講演を聞いて感じたこと(1)や、これまで学んできたことをもとに、書いてみましょう。

忘れられたら人は死んでしまう。とのことだったので、今日見た資料のような震災の残酷さだけでなく、亡くなった方々がどんな人達だったのか、何人いたのか、どこに住んでいたのかなどを誰か1人でも覚えておくということが大切だと思いました。また、南海トラフ地震が迫っているとのことだったので、今一度自分の防災準備を見直そうと思います。

()年()組()番()

防災教育講演会 感想用紙

神戸新聞社 兵庫県 NIE 推進協議会事務局 三好 正文 (みよし まさふみ) 様の講演を聞いて

講演内容:「震災30年 記憶をつなぐ」

1. 講演を聞いて感じたことを書きましょう。

やはり最優先は自助で自分のことを優先し、その次に共助で助け合うことが重要だと思いました。地震が終ってもその後起こる火による火災や建物の倒壊など最後まで中絶することは出来ないことを知ることができて良い話であり、いつ起きてもいように備えられそうだと避難場所や仮設住宅では孤独死や自殺などもあったと聞いたときは胸が苦しくなりました。被災者といふかでも、そんな時に人より生きていきたいです。

2. 阪神淡路大震災から今年で31年になります。

令和を生きるあなたたちが、震災を後世に伝えていくためにできることは何でしょうか。

講演を聞いて感じたこと(1)や、これまで学んできたことをもとに、書いてみましょう。

人の記憶は30年が限界とニュースや三好さんに教えてもらったので家族などの親族、身近な人や自分が大人になって子どもができてきたりしたときは今日のように次の世代へ語りつづけることが大切だと感じます。少子高齢化が進み、次世代へつなげていくための人少なくなっています。少しでも色々な人につなげるのが僕たちの役目だと今日の講演を聞いて思いました。

()年()組()番()

防災教育講演会 感想用紙

神戸新聞社 兵庫県 NIE 推進協議会事務局、三好 正文 (みよし まさふみ) 様の講演を聞いて

講演内容:「震災30年 記憶をつなぐ」

1. 講演を聞いて感じたことを書きましょう。

「人を2度死なせない」ために、「30年限界説」を越えるために、震災を
経験していない・知らない世代の私たちが当時の記憶を語り継いでいくこと
が大切なのだと学びました。また「お風呂 シャワー がこんなにも嬉しいこと
なのか」という言葉を聞いて、私たちが毎日当たり前に行っていること、時には
面倒くさいと思うこともとても幸せなことなのだ」と改めて感じました。「命。
尊厳」や「そばにいたことが当たり前になっている存在」をもう一度見直したいです。

2. 阪神淡路大震災から今年で31年になります。

令和を生きるあなたたちが、震災を後世に伝えていくためにできることは何でしょうか。

講演を聞いて感じたこと(1)や、これまで学んできたことをもとに、書いてみましょう。

震災を直接経験していないからこそ 今日講演で聞いたことや 震災を実際
に経験した人の話を大切にして、その聞いたことを次の世代に語り継ぐということが
大切であると考えました。また、南海トラフ地震などの自分たちが生きるこれ
からにも大きな地震は必ず起こるので「災害は繰り返す。備えにゴールはない」
という言葉のよりに、過去の災害から学びこれから生きていきたいと思います。
そして、1番は「忘れない」こと。大きな地震があったこと、たくさんの被害者が出たこと、
絶対に忘れないようにしたいです。()年()組()番()

防災教育講演会 感想用紙

神戸新聞社 兵庫県 NIE 推進協議会事務局 三好 正文 (みよし まさふみ) 様の講演を聞いて

講演内容:「震災30年 記憶をつなぐ」

1. 講演を聞いて感じたことを書きましょう。

死者6434人。数字で見ると、日本の人口や、戦争のときの死者数と比べ、ささいなことのように思えてしまいます。でも、そんなことはなくて、それぞれの人に人生があって、どの命もとても重たいものなのだ。それを、ただの数字として扱うと、その人も「二度死なせる」ことをしてはいけないのだ。じから、そう思いました。また、「確率は1%だけれど、明日起きるかもしれない」という言葉には、としました。「あわせ運べるように」の歌詞にも「七なまた方達の分まで」とあったように、震災から復興したこの地域で幸せに生きていられることに

感謝し、一日一日を大切に生きていきたいなと
2. 阪神淡路大震災から今年で31年になります。 思いました。

令和を生きるあなたたちが、震災を後世に伝えていくためにできることは何でしょうか。

講演を聞いて感じたこと(1)や、これまで学んできたことをもとに、書いてみましょう。

まず、自分が、今感じた「過去の震災や、その被害を軽くあつかってはいけない」という思いを
決して忘れないでいることが大切だと思います。そして、家族や、将来できたら自分の子
もなどにも、話をしていくことで、「忘れてはいけない」という思いとともに、震災の記憶を
受けついでいくことが「できるのではないか」と思います。私は、家に帰ったら、そく
教えていただいた「新聞紙スリッパ」を作り、震災に備えることの大切さも知ったよと
家族に話そうと思います。少し行動するだけでも、自分の、そして自分の周りの人の震災
に対する意識は変わっていくはずだと思います。()年()組()番()

防災教育講演会 感想用紙

神戸新聞社 兵庫県 NIE 推進協議会事務局：三好 正文（みよし まさふみ）様の講演を聞いて

講演内容：「震災30年 記憶をつなぐ」

1. 講演を聞いて感じたことを書きましょう。

今日の講演で一番印象に残っている言葉は「人は二度死ぬ」です。「体」が死ぬ時と「自分の事」を忘れられる時。私の新世の中で地震で亡くなった人はいいけど、亡くなってしまった人がいることをわすれずにしたいし、自分の大切な人を大切にしたいです。あと、最近では建物や上下水道の老朽化があるのでそのことにも気をつけたいと感じました。自分が地震のことについて知り、地震を知らない人たちに伝えていきたいです。

2. 阪神淡路大震災から今年で31年になります。

令和を生きるあなたたちが、震災を後世に伝えていくためにできることは何でしょうか。

講演を聞いて感じたこと(1)や、これまで学んできたことをもとに、書いてみましょう。

私は、今年の1月6日の鳥取の地震で姫路をゆれて生れてはじめての地震でした。いつも学校で訓練してあげたその時は家で一人だったので冷静になれずまず母に電話をかけました。その時はつながりたけど本来の地震の時はつながりないかもしれない、そもそも立派な訓練でいらない電話をかける分余裕がないと思います。私は避難訓練でまんざらしてたけれど、それでいいと三好さんが言っていたみたいで「備え」にゴールはないということを知りました。自分が生きている間に必ず南海トラフ地震はくるということをつねに頭に叩きつけておきたいです。

()年()組()番()

防災教育講演会 感想用紙

神戸新聞社 兵庫県 NIE 推進協議会事務局 三好 正文 (みよし まさふみ) 様の講演を聞いて

講演内容:「震災30年 記憶をつなぐ」

1. 講演を聞いて感じたことを書きましょう。

阪神淡路大震災では、6434人のうち921人が「災害関連死」であり、直接死ではないことが分かった。今年で阪神淡路大震災から31年目となり、「30年限界説」を越えていかないと、いけない。30年限界説を越えるためには、中学生や若い世代など震災を経験していない世代が「また次の世代へと順番に語り継いでいくことが大切」に近いうちに南海トラフが起きると言われているけど、備えにゴールがないということで日々備えていくことが大切

2. 阪神淡路大震災から今年で31年になります。

令和を生きるあなたたちが、震災を後世に伝えていくためにできることは何でしょうか。

講演を聞いて感じたこと(1)や、これまで学んできたことをもとに、書いてみましょう。

学校に講師の方が来てくださって講演を聞く、防災について教えてもらうなどの受け身の学び方だけでなく、神戸現地別などで実際に震災を感じることの出来る場所に行く、体験するなどといった、自分から学びにいくという意識、積極的な意識をもって、震災について学ぶことが大切だと思った。30年限界説を越えるためには、今の若い世代、自分たちの世代が越えていくための大きな鍵になると思うので、このような講演会(日)を大切に、震災について、しっかりと学び次の世代へ伝えていく、残していく、続いていくことが必要不可欠だと思った。

()年()組()番()

防災教育講演会 感想用紙

神戸新聞社 兵庫県 NIE 推進協議会事務局 三好 正文 (みよし まさふみ) 様の講演を聞いて

講演内容:「震災30年 記憶をつなぐ」

1. 講演を聞いて感じたことを書きましょう。

私は、この講演で今まで起きた地震を忘れてはいけな
いと思いました。後世に継いでいくことが大事だと思
います。

地震はいつおこるか誰にもわからないので、おこるま
えにそなえておくことが大事だと思
います。地震の伝承は30年限界説がある
と言われているので、そのことが絶対にならない
ように私達が語り継いでいかないと
いけないと思
います。今日学んだことを家族や 親

せきなどの身近な人に話そうと思
います。阪神・淡路大震災につくられた「震災伝承
2. 阪神淡路大震災から今年で31年になります。新聞」は今も活用されていると聞いてすご
いと思
いました。

令和を生きるあなたたちが、震災を後世に伝えていくためにできることは何でしょうか。

講演を聞いて感じたこと(1)や、これまで学んできたことをもとに、書いてみましょう。

私は、自分の子供や家族に話したり、『しあわせ運べるように』などの歌を
家に帰って聴こうと思
います。私に今できることは、忘れない、語り
継ぐ・人を2回も死なせないという3つのことだと思
います。なので、
私はその3つを絶対に心に留めておこうと思
います。地震のおそろ
しは忘
れてはいけ
ないことだと思
います。今日の講演や昨年の
講演で学んだことを心に留めて、忘
れないよう後世や家族に伝えて
被害が少しでも減るよう ()年()組()番()
にしたいです。備えるに
ガール

ははいと言
っていたので、たくさん今のうちから備えようと思
います。